地域まちづくりプラン

白幡上町防災・防犯まちづくりプラン

令和４年 11 月（最終アンケート）

白幡上町自治会

「白幡上町防災・防犯まちづくりプラン」のあらまし

1. 地域の成り立ちと課題

横浜市神奈川区白幡上町は、古くは江戸時代東海道から離れた寒村（白幡村）に始まり、昭和２年に開通した東京横浜電鉄（現、東急東横線）の沿線東側の丘陵地に郊外住宅地として発展した地域である。周辺には、白楽駅付近の六角橋商店街等の商業地も隣接する。町内は、主に小高い丘陵地で眺望が非常によく、日当たりの良い斜面地である。植栽等でのまちの環境づくりにも積極的であり、多世代に渡ってまちづくりに参画する意識も高い。魅力あるまちなみに誇りを持っている住民も多い地域である。

一方で、高台で傾斜地の住宅が多く、急坂や狭あいな道路が網目状につながり、災害時の緊急車両の通行や住民の避難に課題がある。木造住宅が密集した地域であり、大規模災害時の火災延焼被害が大きいとされる「不燃化推進地域」に指定されている。消火活動の改善が地域の課題としてあげられる。

町内の住民の防災意識が高く、これまでも消火訓練や防災フェアーでの炊き出し訓練など様々な防災活動を進めて来た。地域のまちづくりの目標を定め、それに基づいた災害等に強いまちづくりに向けて活動を進めていく。

2. まちづくりのビジョン

白幡上町防災・防犯まちづくりプランでは、地域の子育て世代、高齢者、子どもなどの住民が安全安心に暮らせるまちを目指し、日常的なまちの安全性の向上などに加え、災害時には“住民が防災力を発揮できるまち”になることを目標とする。また、助け合いや気遣い合いの自助共助が成熟したまちを目指し、住民の日常的な防災意識の向上・推進を目標とする。防災・防犯に強いまちを実現する為、ハード・ソフト両面の活動を行う。

安全安心なまち

- **防災・防犯に強いまちの実現**
- **日常的な防災活動など（自助共助）の推進**

3. まちづくりの取組

まちづくりのビジョンを実現する活動と取組として５項目をかかげ、白幡上町自治会が主体となって、必要なものについては関係機関と協議しながら取り組む。

①安全・安心なみちの改善と維持

- ■災害時の避難ルートや日常的に良く使われるみちや、危険な階段の改善整備（路面の整備、段差の緩和、手すりの設置、防犯灯の設置 等）
- ■見通しの悪い交差点の改善検討（カーブミラーの設置等）

②災害に有効な消防設備の設置と維持

- ■町内の防災力を高める為の消防設備の拡充
  （消火栓（街かど消火栓） 等）
- ■既存消防設備の活用・周知
  （初期消火箱、消火器、防火水槽の活用・設置場所の周知）

③災害時の活動・支援場所の整備と維持

- ■災害時の避難場所の整備と周知
- ■防災トイレや防災備蓄庫の設置・更新・拡充、
  拠点施設（白幡上町自治会館）の耐震化・老朽化対策の検討 等

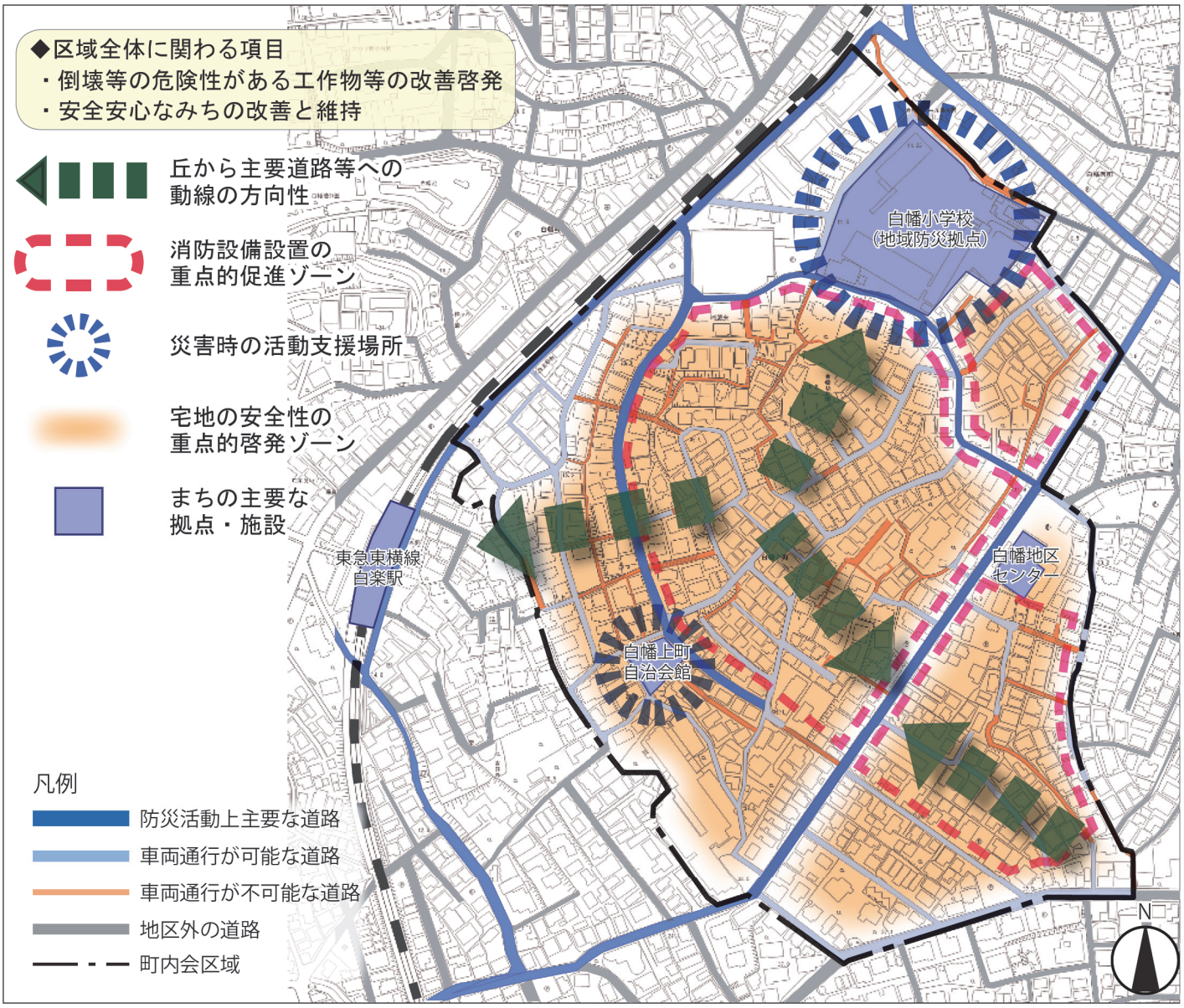
④宅地（民地）の安全性の確保・啓発

- ■倒壊の危険性のあるブロック塀や崖などの改善の啓発
  （ブロック塀や崖などの改善に向けた補助金事業の案内、
  所有者への自主点検シートの配布 等）

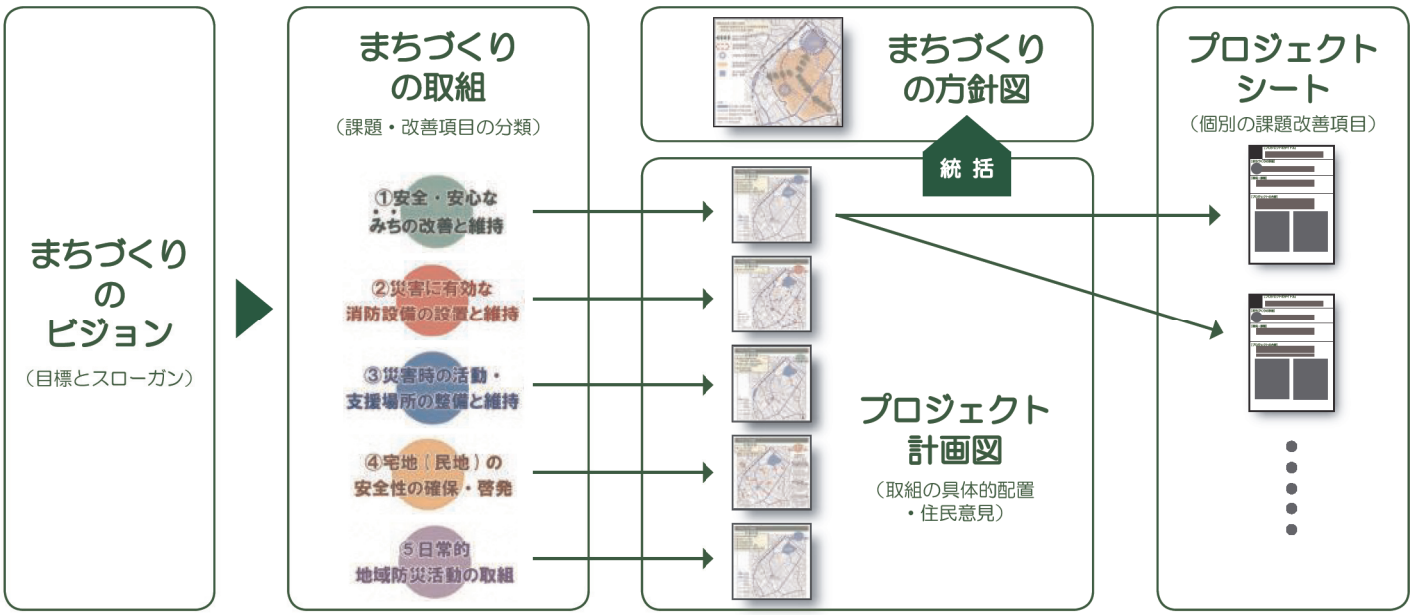
⑤日常的地域防災活動の取組

- ■災害時の消防や救急の支援、日頃からの近隣同士のコミュニケーションの促進（防火・防犯パトロール、防災 PR 等）
- ■防災訓練や減災イベント等の実施、災害対策本部運営マニュアル、
  災害時行動指針作成 等
- ■防災情報発信の促進

4. まちづくりの方針図



「白幡上町防災・防犯まちづくりプラン」の構成



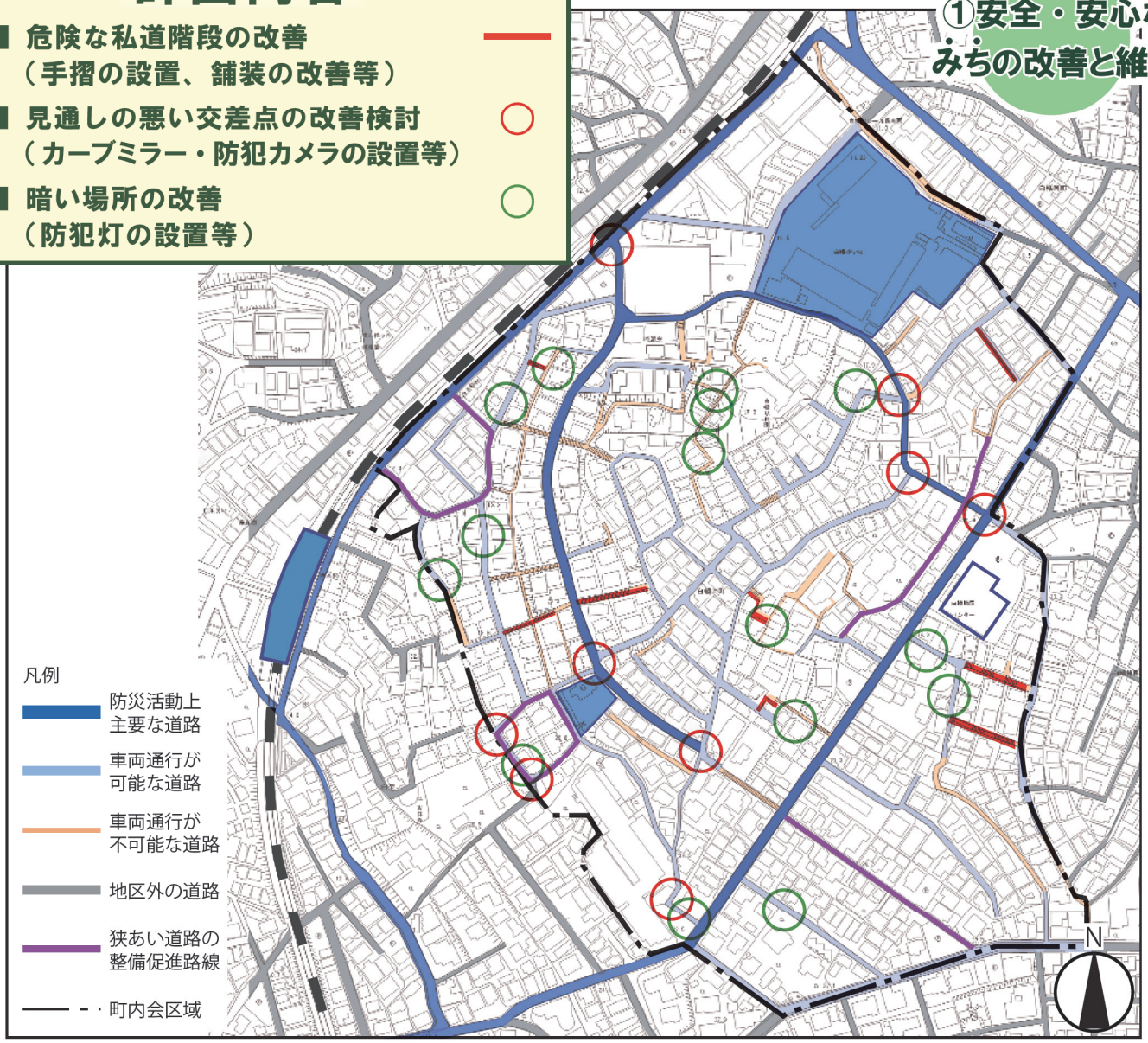
計画内容

■ 危険な私道階段の改善
（手摺の設置、舗装の改善等）

■ 見通しの悪い交差点の改善検討
（カーブミラー・防犯カメラの設置等）

■ 暗い場所の改善
（防犯灯の設置等）

①安全・安心なみちの改善と維持



計画策定の参考にしたアンケート意見

【古くて心配な階段について】
- 階段が古くなり一部崩れかかっているので直して欲しい。災害時に危険。石段の修理と手すりをつけて欲しい。
- しらはた幼稚園の脇の長い階段。植木、雑草が繁茂し、階段も凸凹している。

【歩きにくい道について】
- 舗装の荒れた私道がある。
- 私道でも半公道的な階段等は整備の推進が必要。

【安全な歩行空間づくりについて】
- 通行できない道を強引に通行しようとする車を規制してほしい。
- 宅地から道路にはみ出した樹木が車や歩行の妨げになっているので改善してほしい。

【休憩場所について】
- 高齢者が休めるよう、適当なところに長椅子等の休憩場所が欲しい

【危険運転の抑止について】
- 一方通行路の明示、徹底（看板の視認性アップ）
- スクールゾーンでの路上駐車やスピード超過対策
- 駐車禁止の標識設置
- 見通しの悪い交差点を徐行せず高速で通り過ぎる車両が散見される。防犯カメラの整備など事故防止方法は無いか。

【暗くて怖い道について】
- 外灯が少なく暗い。夜間の不審者や防犯のために改善してほしい。
- しらはた幼稚園正門から上側の階段に照明がなく暗い。
- 暗い路地に防犯灯が欲しい。
- 防犯灯が切れているところがある。

【見通しが悪い交差点について】
- カーブミラーの設置
- 見通しの悪い交差点で徐行、一時停止をしない自転車との事故防止対策

※地図外に掲載した意見は、自治会で行ったアンケートに寄せられた“地域の声”を参考に抜粋しています。（R4.4～5月時点）

計画内容

■ 街かど消火栓の新設（簡易水道消火装置）

■ 初期消火箱の新設

②災害に有効な消防設備の設置と維持

計画策定の参考にしたアンケート意見

【現在の設置場所について】

・初期消火箱や街かど消火栓の設置場所が わからない。
・消火栓や消火箱の配置図が欲しい。（LINE の活用）
・消防設備のある場所を掲示して欲しい。
（ゴミ収集場所や掲示板等）
・目に留まりやすい場所へ器具を設置して欲しい。

【消火設備の使い方について】

・初期消火箱や街かど消火栓の種類・使い方が分からない。使い方を周知をして欲しい。
・高齢者の一人暮らしなので、消防設備を自由に使いこなせるか不安。
・昼間の在宅者は高齢者が多いので扱いが簡単な設備の選定が必要。

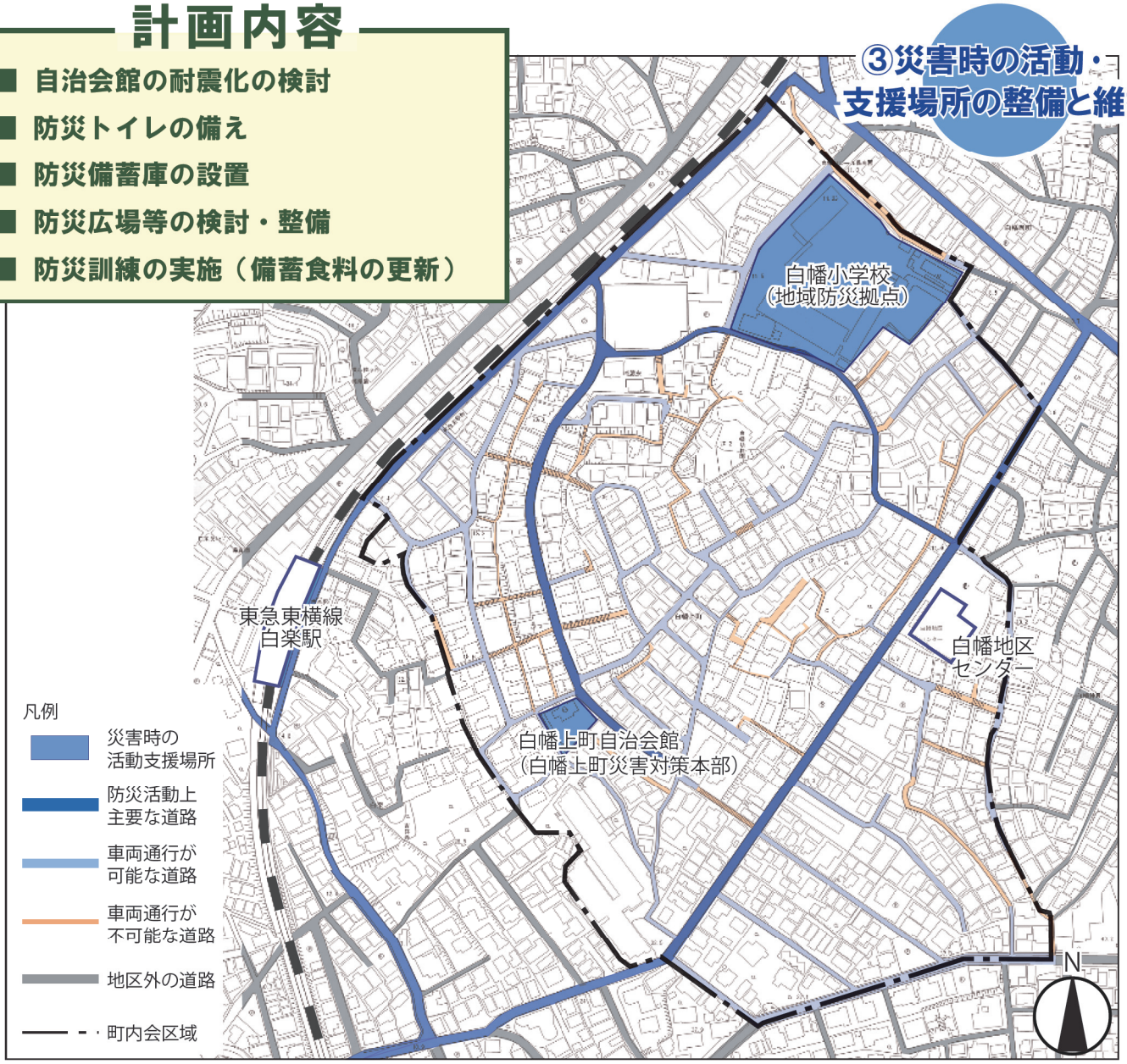
【消火設備の新規設置について】

・消防車の入れない狭隘な路地等に初期消火箱や街かど消火栓を優先して設置する事が必要。
・消火栓の増設による消火対応力の向上
・初期消火箱の有効範囲から外れる空白エリアの解消

※地図外に掲載した意見は、自治会で行ったアンケートに寄せられた“地域の声”を参考に抜粋しています。（R4.4～5月時点）

計画内容

- ■ 自治会館の耐震化の検討
- ■ 防災トイレの備え
- ■ 防災備蓄庫の設置
- ■ 防災広場等の検討・整備
- ■ 防災訓練の実施（備蓄食料の更新）



計画策定の参考にしたアンケート意見

【災害時の避難場所について】

・地震発生時に白幡上町自治会館を使用することがあるはず。
　倒壊しないようにして欲しい。
・丘の上ゾーンに防災広場等の拠点が欲しい。
・上町は平坦な地域が少なく地震などの被害が心配。
　災害時の避難場所の充実をお願いします。

【防災備蓄の呼びかけについて】

・震災から 10 年以上経ち意識が薄れている方も多い。
　各家庭でも備蓄品を備えるよう呼びかけが必要

【地域の防災備品の拡充について】

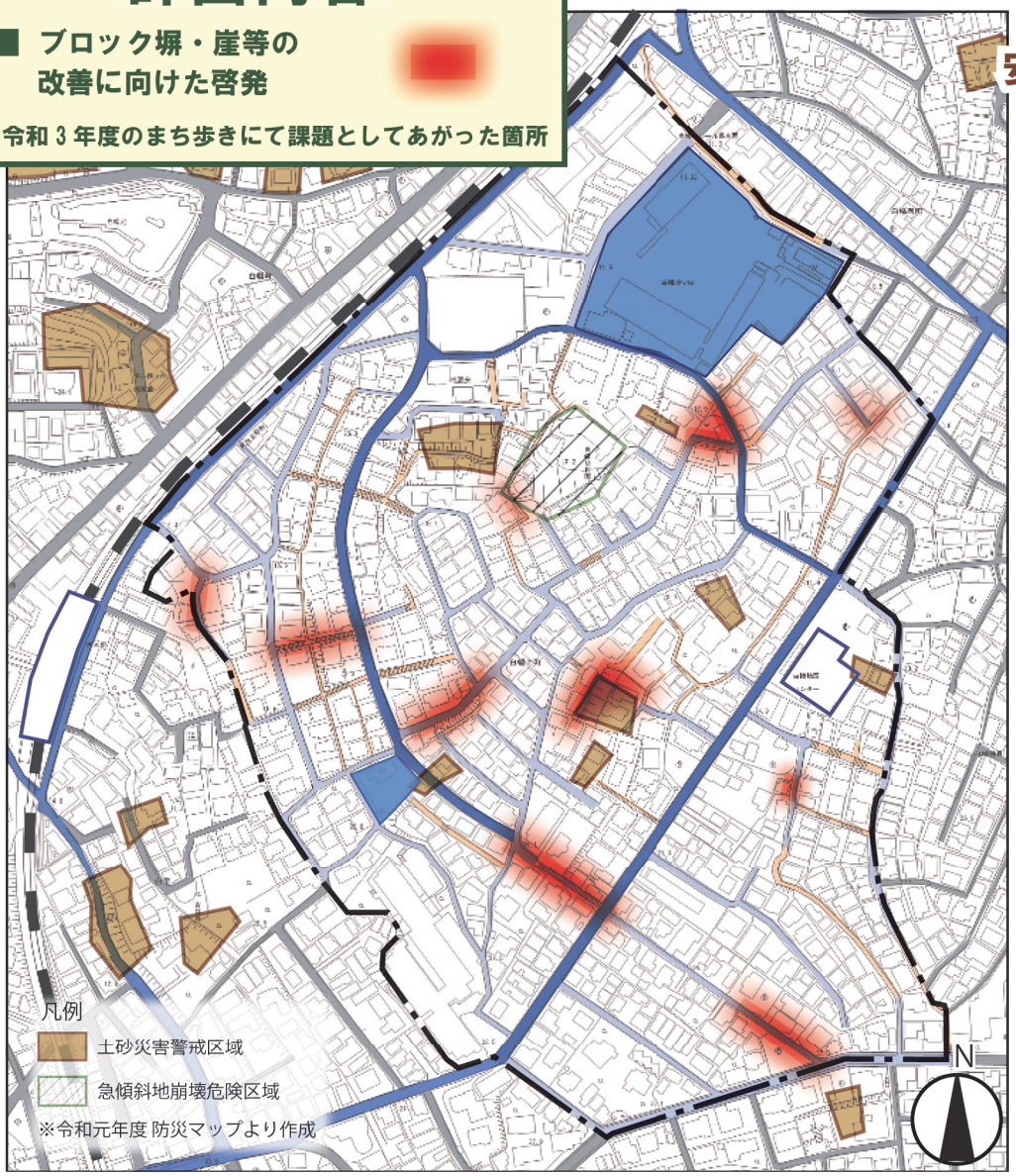
・災害時の車椅子等の確保
・非常時の通信機器（スマホ等）の充電設備の拡充
・防災マンホールトイレの設置

※地図外に掲載した意見は、自治会で行ったアンケートに寄せられた“地域の声”を参考に抜粋しています。（R4.4～5月時点）

計画内容

■ ブロック塀・崖等の改善に向けた啓発

※令和３年度のまち歩きにて課題としてあがった箇所



横浜市には、ブロック塀解体や崖地防災対策に関する取組への助成制度があります。（令和４年度時点）

④宅地（民地）の安全性の確保・啓発

計画策定の参考にしたアンケート意見

【空き家・空き地について】

・空き家及び周辺状況の把握
・手入れがされておらず防犯上不安なお宅がある。安全の為に何とか出来ないか。
・管理の所在が不明な荒れた土地で、多少危険なところがある。

【ブロック塀の倒壊について】

・通学路のブロック塀が心配
・ブロック塀のお宅が多いと感じる。助成制度について知りたい。
・私道やブロック塀等の補修補助金について知りたい。
・お金のかかる対策は難しい。
・改善のための助成額がさらに充実すれば対策もとりやすい。

【ゴミ出しのルールについて】

・火災に繋がるので、ゴミ出しのルールの確認が必要。
・防犯・防災と併せて、ゴミ散乱などの課題がある。

計画内容

■ 消火訓練や防災フェアを実施し地域交流の場を設ける

■ ホームページ、LINE を使用した迅速な情報発信の実施

⑤日常的地域防災活動の取組

計画策定の参考にしたアンケート意見

【情報提供の迅速化について】

・引越しして来たばかりの方の為に定期的にアナウンスすると良いと思う。
・LINE による火事や不審者情報がありがたい。
・LINE による情報共有は、子供の使用に適している。
・ホームページやLINE を使えない人への連絡も必要。

【消火訓練等の防災イベントについて】

・訓練を繰り返し実施して、多くの町民に参加してもらう工夫が必要。
・白幡小学校地域防災拠点との連携訓練。
・災害時要支援者確認訓練の実施。
・消防団との連携。
・災害弱者（高齢者・外国人 等）の支援を検討。

※地図外に掲載した意見は、自治会で行ったアンケートに寄せられた“地域の声”を参考に抜粋しています。（R4.４～５月時点）

プロジェクトシートの目的と役割

まちの課題や改善すべき点などを具体化・可視化し、地域住民で共有する目的で作成しています。活動の主体と対象を明確にし、プロジェクトに挙げたテーマが、短期的若しくは長期的に達成するもの、あるいは持続的な活動として続けていくものかを整理・共有し、まちづくりの活動として実行していきます。

※プロジェクトシートは主な取組を掲載しています。
今後もまちづくりのビジョンに沿った取組を検討・作成していきます。

No. 1

【プロジェクトのタイトル】

見通しの悪い交差点の安全性向上

【まちづくりの取組】

①安全・安心なみちの改善と維持

【現況・課題】

・上り坂道と下り坂道が交差したり、道がずれて交差している為、見通しが悪く危険性が高い。
・住民の通行だけでなく、外来者（宅配・郵便など）の通行量が多い。

【プロジェクトの内容】

・カーブミラーが設置可能な箇所については、土木事務所に設置を要望する。設置個所が民地の場合は、自治会として自費設置を検討する。
・利用者への交通ルールの周知を行う。
・進入禁止違反を抑制する為に、民地への防犯カメラ設置の検討を行う。

←白幡小学校方面から続く一方通行路にしらはた幼稚園への道が接続する見通しの悪い交差点

”横浜白幡レジデンス”脇の→一方通行の曲がり角

No. 2

【プロジェクトのタイトル】

私道を利用した避難路の整備

【まちづくりの取組】

①安全・安心なみちの改善と維持

【現況・課題】

・高台は通り抜け可能な道路が少なく、災害時の消防活動経路や避難経路の確保が困難である。
・高台から白幡幼稚園脇を通る道は、舗装が荒れ、安全な避難に課題がある。
・防犯灯が不足しており、避難や防犯上も不安がある。

【プロジェクトの内容】

・高台から迂回せず主要な道路に降りられる避難経路を確保する。
・避難経路として使う私道の路面や階段の手すり設置などの整備を行う。
・私道部分の照明は、所有者と調整の上 LED 照明の設置を検討する。

↑老朽化した階段（私道）

↑旧式の防犯灯の交換・増設

↑ひび割れが入った踏面

No. 3

【プロジェクトのタイトル】

急傾斜の階段の手すり設置

【まちづくりの取組】

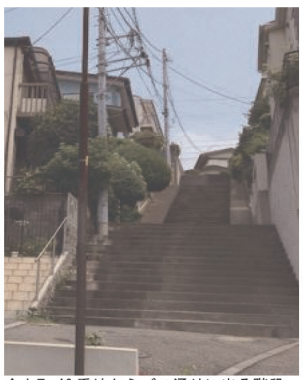
①安全・安心なみちの改善と維持

【現況・課題】

・高台から主要な道路に降りられる階段に手すりがない為、高齢者などの通行に転落の危険性がある。

【プロジェクトの内容】

・災害時の避難経路として階段の安全性を高める。
・日常の生活の利便性、安全性を向上させる為、町内にある急傾斜の私道の階段に手すりを設置する。



↑上町 46 番地からバス通りに出る階段

↑階段上より

プロジェクトシート

No. 4

【プロジェクトのタイトル】

街かど消火栓（簡易水道消火装置）の設置

【まちづくりの取組】

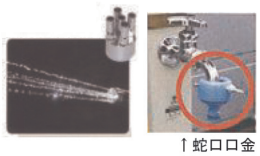
②災害時に有効な消防設備の設置と維持

【現況・課題】

・消火栓等での警戒が困難なエリアが多い（狭あい道路、階段等が多い為）
・粉末消火器では大規模火災時等の際、消火能力が不十分。
- 高齢者や女性でも扱える、初期消火と延焼防止に効果のある設備が必要。

【プロジェクトの内容】

・民地水道から水利が取れる「簡易水道消火装置」の設置。
・簡単な消火訓練で老若男女問わず初期消火活動に参加可能。
・従来の消火設備に比べ、設備費用が安価であり設置場所の制約も少ない為、街中に柔軟な設置が可能。



消火効果の高い「開発ノズル」→

↑蛇口口金

No. 5

【プロジェクトのタイトル】

大規模災害時に有効な拠点整備と設備の確保

【まちづくりの取組】

③災害時の活動・支援場所の整備と維持

【現況・課題】

・白幡上町は平坦な場所が少なく避難場所の確保が必要。
・大規模災害時に利用できる設備・備蓄が必要。

【プロジェクトの内容】

・一時避難場所の整備を検討。
・災害用トイレ（簡易トイレ、マンホールトイレ等）の確保。
・防災備蓄庫（食品や医療品等）の確保と維持。

No. 6

【プロジェクトのタイトル】

防災情報発信ツールの充実

【まちづくりの取組】

⑤日常的地域防災活動の取組

【現況・課題】

・災害時に的確な情報発信の場が必要。
・日頃より防災に関する情報を確認し、非常時への備えが必要。
・防災スピーカーの音は、高低差のある土地柄、聞こえにくい場所がある。
・回覧板は、回りきるのに時間がかかるうえ、見返すことが出来ない。

【プロジェクトの内容】

・自治会の広報誌「しらかみ」を全戸配布にすることにより、地域全域に素早く防災情報の発信を行う。
・白幡上町自治会のホームページ委員会を立ち上げ、内容の拡充を図る。
・緊急時に迅速な情報伝達を図る為、白幡上町自治会公式 LINE アカウントの運用・活用を行う。
・LINE の利用者を軸に“向こう三軒両隣”の精神で情報共有を行う。

No. 7

【プロジェクトのタイトル】

減災イベントの実施

【まちづくりの取組】

⑤日常的地域防災活動の取組

④宅地（民地）の安全性の確保・啓発

【現況・課題】

・地域の課題や、防災時の行動について住民に広く周知する必要がある。
・子どもたちの、防災意識を育む場を設けたい。
・日中地域外で働く住民が、地域住民と関わりを持てる機会を増やしたい。

【プロジェクトの内容】

・消火訓練や防災フェアにて、地域交流の場を設ける。
・定期的な防火・防災パトロールの実施。
・子どもたちを対象とした、防犯イベントの実施。
・崖地やブロック塀の改善の啓発、補助制度の案内をイベントにて行う。

↑消火訓練（白幡上町自治会館広場）

↑消火訓練（しらはた幼稚園近隣）

↑初期消火箱を使用した訓練

↑初期消火箱・街かど消火栓ハリアーを使用した訓練